



講師から中国茶の入れ方を教わる児童ら

中国から牧之原市を知ろう

■牧之原について知ろう／細江小

細江小は7月17日、6年生84人を対象に中国出身で市内在住の鈴木福美さんを講師に招き、中国について学びました。

「牧之原について知ろう」と題し総合的学習の一環で本市について調べている児童らは、市と他の地域との違いなどについても学習しています。講師から中国の茶文化などについて説明を受けた後、児童らは自分の名前などを中国語で発音しました。

8月14日には中国からの修学旅行生との交流会が開かれ、覚えた中国語であいさつを行いました。

茶葉の香りや外観審査を体感

■市認定者農業者協議会一番茶品評会

市内の生産農家で作る市認定農業者協議会は7月10日、さざんかで一番茶品評会を開きました。

品評会には同協議会の個人・共同製茶工場から92点が出品され、審査員が茶葉の味や外観などについてチェックしました。リーフ茶に親しんでもらい消費拡大につなげようと、品評会は一般公開されました。

品評会には市内8小学校から3年生約340人が招待され、普段見ることができない審査を見学し、お茶の美味しい入れ方を学びました。



出品された茶葉を手に取り、確認する菅山小の児童ら

わたしの夢に向かって

■平成24年度家庭と地域で子どもを育てる市民のつどい

「平成24年度家庭と地域で子どもを育てる市民のつどい」が7月28日、い〜らで開かれました。

第1部では中学生の「わたしの主張2012」作文コンクール優秀作品の表彰と発表などが、第2部では、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市立米崎中学校の阿部重人校長を講師に迎えての記念講演会が行われました。

作文の発表後には、阿部校長から受賞者へ同市の名勝の高田松原で一本だけ残った「奇跡の一本松」が描かれたクリアファイルが贈られました。



阿部校長（右端）からプレゼントを受け取る受賞者



工事について、市職員に質問する研修生（左端と右端）

自国での技術力向上に期待

■モンゴル国ドルノゴビ県水道技術研修生受け入れ

市は、7月18日から20日にかけて、モンゴル国ドルノゴビ県からの水道技術研修生2人を受け入れました。

市は昨年、静岡県と友好協定を結んだ同県と水道分野での交流をしています。研修生は、市の上水道の整備状況や水道管の構造などについて説明を受けたほか、市内の水道工事現場などを視察し、実際の工法や技術について学習。また、水道業者らで構成する市の管工事組合と意見交換を実施し、積極的に研修を行いました。



テープカットで完成を祝う西原市長（左端）や川勝県知事（中央左）ら

地域の一層の発展に向けて

■金谷御前崎連絡道路大沢インターチェンジ立体交差化完成記念式典

金谷御前崎連絡道路大沢インターチェンジ（IC）立体交差化完成記念式典が8月5日、同ICで行われました。

同連絡道路は御前崎港から新東名高速道路島田金谷ICを結ぶ全長約30キロで、同港や富士山静岡空港の利用促進のためにも重要な道路です。この立体交差化により、東名高速道路相良牧之原ICから同連絡道路地頭方ICまで信号機がある交差点の平面交差を回避でき、よりスムーズな走行が見込めます。

式典には、川勝平太県知事をはじめとする関係者や地域住民ら約100人が出席。テープカットで完成を祝った後、西原市長の合図で関係者車両の通り初めが行われました。

協働のまちづくりをアドバイス

■自治基本条例推進セミナー

自治基本条例推進セミナーが7月7日、い〜らで開かれました。

昨年10月に施行した自治基本条例の推進に向けて自治会地区長会と市が主催し、市民など約310人が参加しました。前我孫子市長の福嶋浩彦氏を講師に迎え、「市民力」「職員力」をキーワードに実施。福嶋氏は、「自治をつくる」と題して講演し、「自治会やNPOなどの『事業者市民』の活動を行政が支援するとともに、互いの対等な関係が必要」と協働のまちづくりについて、助言しました。



市民と行政の関係性について説明する講師



ゴールを目指しスタートを切る男子100メートル走の選手ら

自分自身のゴールに向かって

■平成24年度榛原地区南地域小学校陸上競技大会

平成24年度榛原地区南地域小学校陸上競技大会が7月3日、4日の両日、市榛原総合公園ぐりんばるで開催されました。

大会には市内10校、吉田町内3校から6年生を中心に約850人の児童らが参加。男女別に設けられた100メートル走や走り幅跳び、ソフトボール投げなど9種目で、日ごろの練習の成果を競い合いました。選手たちは仲間や保護者から大きな声援を受けながら、自己記録の更新を目指して全力を出し切り、熱い戦いを繰り広げました。



広報担当がどこにも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎ (23) 0052 ✉ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp